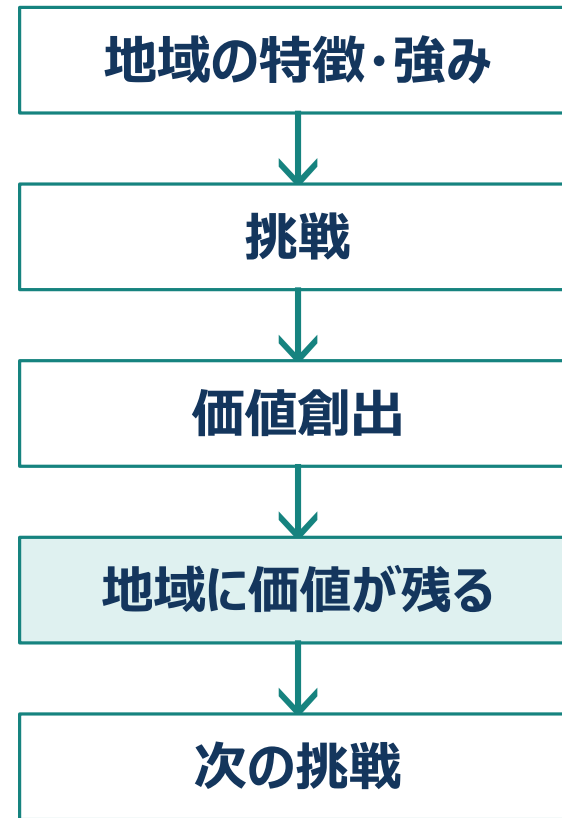


創薬事業から考える、 地域の価値創出

— 創薬・先端医療を通じて見る沖縄の産業振興 —

山内 理夏子

今回の視点



創薬事業を一つの具体例として、地域に価値が残り、次の挑戦につながる循環を考える。

※産業振興に関する見解・考察は、発表者個人の見解です。

創薬事業・先端医療を、産業振興の候補として考える

産業振興の観点から、この領域が沖縄に価値を残し、次の挑戦につながり得るかを考える

今回の視点

産業振興の視点

- 地域に価値が残るか
- 人材・知識・経験が蓄積するか
- 次の挑戦につながるか

創薬事業・先端医療の特徴

- 長い時間軸
- 高い専門性
- 多主体連携
- 国際市場を見据えた展開

沖縄との関係性

- 研究・医療基盤
- 地域特性
- 国際性
- すでに始まっている挑戦

創薬事業・先端医療を一つの候補として、沖縄の未来に向けた産業振興を考える。

自己紹介

山内 理夏子

- 製薬企業で創薬研究推進、R&D戦略/製品戦略策定、ポートフォリオマネジメント、新規事業立ち上げを経験
- 創薬ベンチャー2社のCSOとして創薬研究推進・資金調達等に携わる
- 現在、理研DMP 戦略提携室長

創薬の研究開発・事業化・共創の現場を経験した立場として、本日お話をさせていただきます

産業振興において、地域に残る価値を大切にする

所得・雇用に加え、人材・知識・技術・経験が地域に残ることも重要な視点

見えやすい成果（フロー）



産業振興では、所得や雇用とともに、地域に人材・知識・技術・経験が蓄積されていくことも大切な視点となる。

地域に残る資産（ストック）



それらが次の挑戦を支え、地域が価値を生み出し続ける力になる。

創薬事業・先端医療には、難易度を踏まえた長期設計が必要

短期的な成果を期待して進めるには難易度が高く、試行錯誤を積み重ねる覚悟が求められる

産業振興につなげる際の現実

**成果まで
時間を要する**
研究から実装まで
長期の取組となる

**成功確率は
高くない**
多くは途中で
見直し・撤退を伴う

**誘致・拠点整備では
続かない**
人材・資金・出口設計が
不可欠となる

沖縄で考えたい姿勢

小さく始める



試行錯誤を回す



学びを地域に残す

見直しや撤退から得られる学びも、次の挑戦を支える地域の資産となる

創薬事業・先端医療は、短期的な成果を期待して進めるには難易度の高い領域である。
挑戦の過程で得られる人材・知識・経験を地域に蓄積し、次の挑戦へ循環させる長期的な設計が必要となる。

創薬事業・先端医療は、長い時間軸で価値を育てる産業

長い時間軸と多主体連携の中で、人材・知識・技術・ネットワークが蓄積されていく領域

創薬事業・先端医療の特徴

**長い
時間軸**

研究から実装まで時間を要する

**高い
不確実性**

検証と判断を重ねて進む

**国際市場
を見据えた設計**

初期から世界市場を意識する

**多主体
連携**

研究・医療・企業・投資・行政

その過程で地域に蓄積され得る価値

高度人材

知識・知財

技術基盤

**医療・研究
ネットワーク**

国際ネットワーク

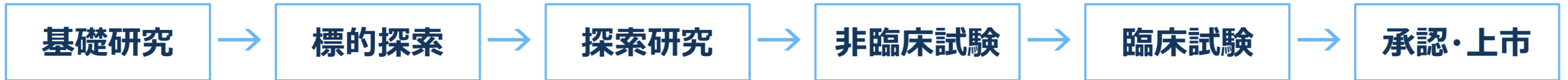
**新たな
事業機会**

創薬事業・先端医療は、成果を目指しながら、地域に価値を育てていく産業とも捉えられる

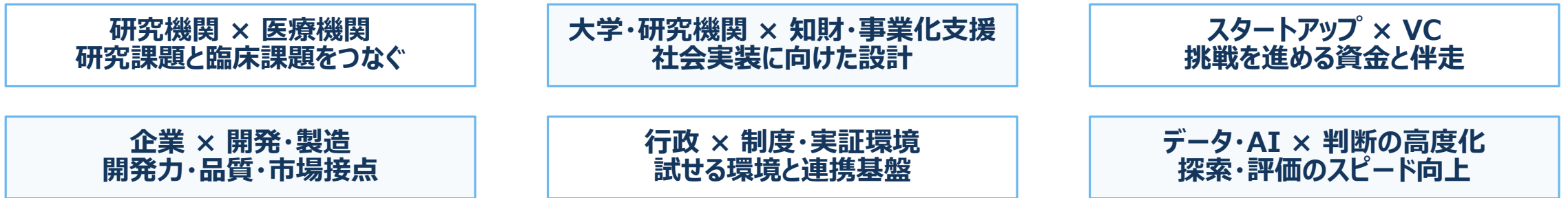
創薬事業は、バリューチェーンと多主体連携で進む

創薬の工程は重要であり、各段階で多様な機能やプレイヤーが関わる

創薬バリューチェーン



各工程を支える機能・プレイヤー



創薬事業・先端医療を候補領域として考える際には、どこで価値を生み出し、どの経験や機能を地域に蓄積していくかが大切な視点となる

具体例：共創型創薬拠点に見る、創薬拠点の広がり

創薬機能の集積から、多様な主体が交わる共創拠点へ



共創型創薬拠点（イメージ AI生成画像）

従来：企業内に集約された創薬機能

研究・人材・設備・知財などの機能が
企業内に集約されていた



現在：多様な主体が交わる
共創型拠点

企業

スタートアップ

大学

医療機関

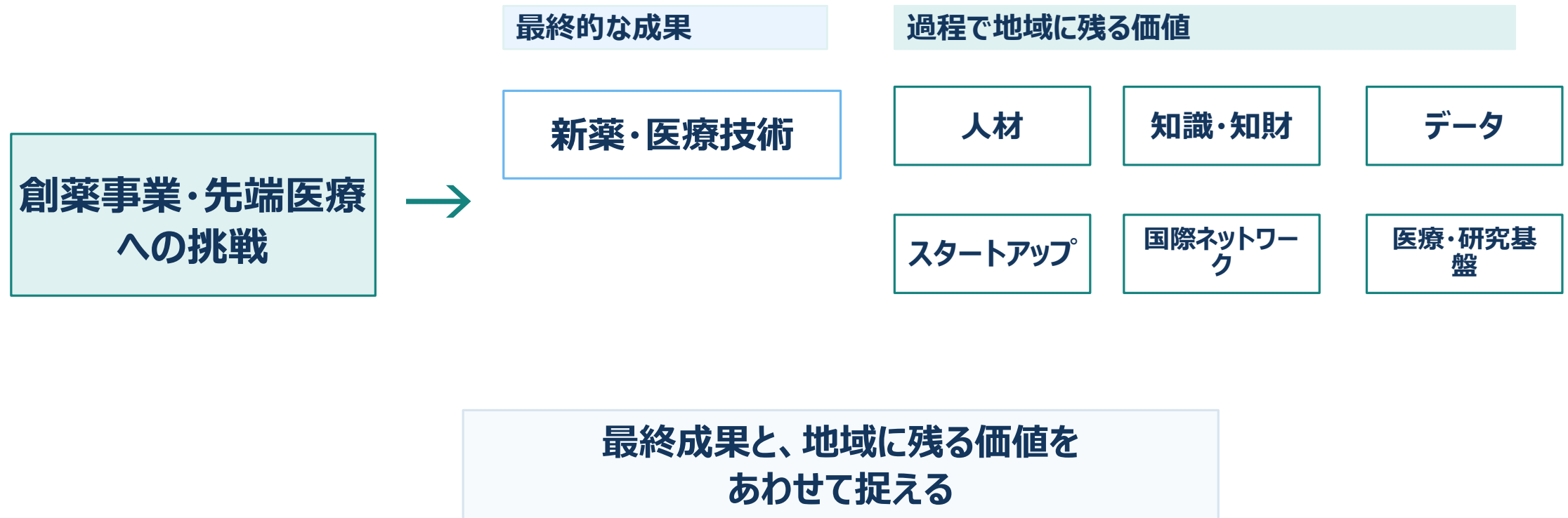
VC

CRO・知財

創薬の場は、企業内の創薬機能を起点に、多様な主体が交わる共創型拠点へ広がっている

創薬事業・先端医療を通じて、地域に残り得る価値

最終成果に加え、そこに至る過程で地域に残る価値にも目を向ける



創薬事業・先端医療では、成果とともに地域に残る価値を育て、その蓄積が次の挑戦を支える循環につながる

世界の創薬集積地は、それぞれの強みから価値を生み出している

各地域の強みや成り立ちによって、創薬・先端医療の価値の生み出し方は異なる

地域	強み・背景	生み出している価値	沖縄への示唆
ボストン	先端研究 × VC	先端研究からの新規事業創出	研究成果を事業化につなぐ資金循環
サンディエゴ	企業連携 × 起業家文化	連続的な起業・事業化	挑戦が続く文化
ケンブリッジ	大学 × スピナウト	知識起点の事業創出	研究成果の出口設計
シンガポール	国家戦略 × 国際ハブ	グローバル企業・人材の集積	国際ネットワークを活かす戦略

世界の創薬集積地に共通するのは、自らの強みや成り立ちを起点に価値を生み出してきた点
沖縄でも、沖縄らしい価値創出の形を考えることが重要となる

価値創出が続く地域では、挑戦と経験が循環している

成功も失敗も、経験として次の挑戦を支える



成功も失敗も、次の挑戦を支える経験になる

次の価値創出

沖縄でも、挑戦した人とそこで得られた経験が地域に残り、次の挑戦を支える循環が重要となる

沖縄ならではの挑戦は、日本・世界の課題解決モデルになり得る

沖縄にしかない問いや環境を起点に、地域発の挑戦を価値へつなぐ。

見え始めている挑戦

感染症対策・
公衆衛生

島嶼医療・
遠隔診療

医療物流・
ドローン輸送

健康長寿の再生・
予防

健康食材・
海洋資源シーズ

アジア連携・
国際展開

沖縄ならではの
問い・環境

島嶼部で医療をどう届けるか
感染症リスクにどう備えるか
健康長寿をどう取り戻すか
地域資源を健康価値へ変えるか
アジア近接性をどう活かすか

日本・世界への価値

離島医療
モデル

感染症対応
モデル

予防・健康長寿
ソリューション

地域資源発
シーズ創出

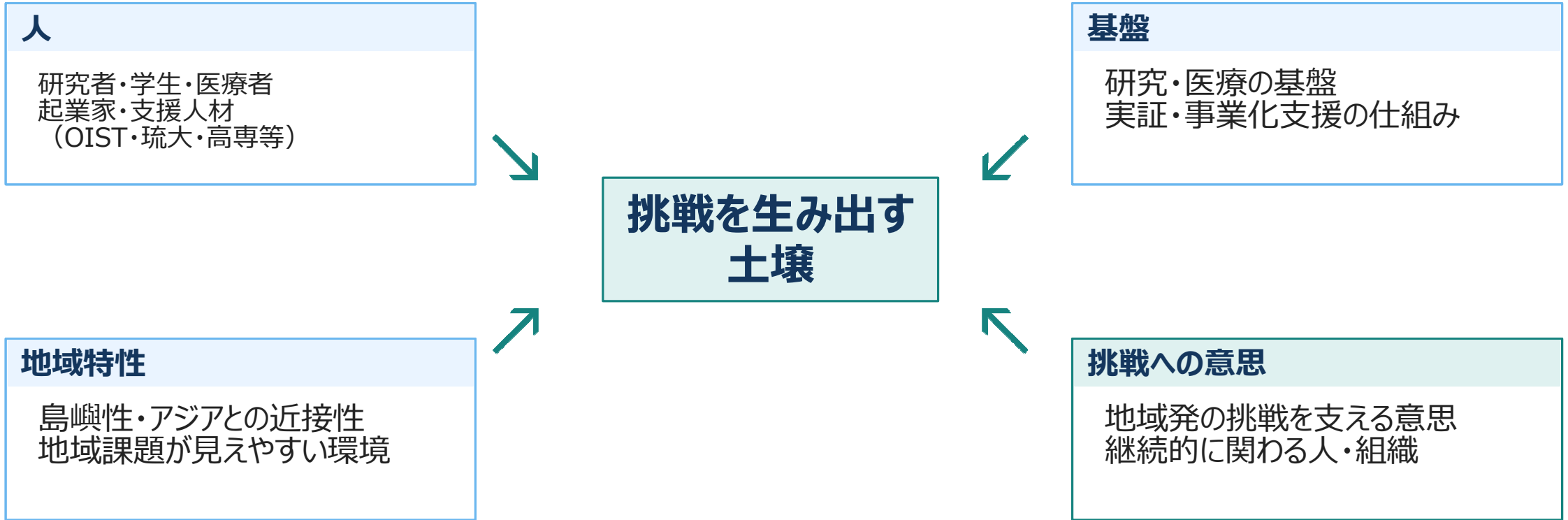
国際共同研究・
事業化接点

次の挑戦・
新産業機会

沖縄ならではの特性を活かした挑戦は、日本や世界にも通じる課題解決モデルの検証の場となり得る。

沖縄では、挑戦を生み出す土壌が育っている

人・基盤・地域特性・挑戦への意思が重なり、挑戦が動き始めている



沖縄には、挑戦を生み出す人・基盤・地域特性・意思が重なり、次の価値創出につながる土壌が育っている

創薬事業・先端医療を、沖縄の候補産業として考える

沖縄で始まっている多様な挑戦を、地域に残る価値へ育てる視点から考える



創薬事業・先端医療は、沖縄で始まっている挑戦をつなぎ、
地域に残る価値につなげる候補産業になり得る。

沖縄での挑戦は、地域の価値創出と、日本全体の創薬力強化の双方への貢献が期待される

創薬事業・先端医療を通じて、沖縄の挑戦を地域に残る価値へ

世界の創薬集積地は、それぞれの地域の強みや成り立ちを活かし、異なる形で価値を生み出してきた。

一方で、創薬事業・先端医療は、短期的な成果を期待して進めるには難易度の高い領域である。

沖縄で始まっている挑戦を地域に残る価値として蓄積し、次の挑戦へ循環させる長期的な設計が求められる。

